

# ゆぎょうじ 遊行寺だより

ホームページでも  
配信しています

朝晩の冷え込みが厳しくなり、境内は澄んだ空気に包まれています。

季節の変わり目ですのでくれぐれもご自愛ください。

## ◆ 今月の行事予定

- しゃきようえ  
・写経会【5日(日)午後1時】  
どなたでも気軽に写経の体験ができます。  
受付は12時半からです。(御志納 1,000 円)  
手ぶらでご参加いただけ、終了時間は自由です。

- さいまつべつじねんぶつえ  
・歳末別時念仏会【18日(土)～28日(火)】  
極楽往生の心と他力本願の深意を体得するために、  
当本山僧侶は念仏三昧の修行をします。  
ただし、27, 28 日を除き法要等は非公開です。

- ひとつび おめつとう  
・一ツ火(御滅灯)【27日(月)】  
開場:午後5時 / 法要説明:午後5時半  
法要:午後6時～8時半頃  
(休憩:午後7時半頃から30分間)  
\*お檀家様には特別席をご用意しております。  
なるべく事前にご連絡ください。

「一ツ火」は一年で最も荘厳な法要です。順に灯火が消えていき、やがて完全な暗闇に包まれた本堂に幽音の念仏が響きます。そして暗黒の世界にただ一つ灯される新たな灯明が、光輝く念仏の世界を本堂内に映しだします。

この法要には「1年間の悪業を懺悔し、来年の善業を志す」という意味合いもあります。

なお本年、主役である「ほうどやく報土役」と「ごとうやく後灯役」をそれぞれ西島秀明(時宗書記)、高垣浩然(総本山書記)が務めます。

- げつれいほうわかい  
・月例法話会【23日(木)午後2時】

信徒会館にて行います。ご参加は自由です。

当月講師:時宗布教伝道研究所

神奈川県横浜市 浄光寺 三浦諒洸師

## ◆ 今月の催事予定

- ・骨董市【5、19日(日)】  
毎月第1日曜日…のみ蚤の市  
〈問合せ:090-4416-2168(石田様)〉  
毎月第3日曜日…ボロ市  
〈問合せ:090-2660-6935(中島様)〉  
\*午前7時より午後4時まで(雨天中止)
- ・寺ヨガ【19日(日)】  
毎月第2日曜日 於:大書院  
\*今月は特別に第3日曜日の開催です  
9時～ / 11時～ / 2時～(各1時間)  
〈問合せ:090-4365-5034(ナーニヤ先生)〉
- ・野菜市【1, 8, 15, 22, 29日(水)】  
毎週水曜日 午前中出店・雨天中止



遊行寺宝物館

えのしまえんぎ  
特別展『江嶋縁起』

〔10月7日(土)～12月18日(月)〕

開館日:毎週月・土・日曜日・祝日

入館料:500円(小・中学生300円)

連携企画スタンプラリー  
“歩いて巡ろう江ノ島詣”

開催期間:平成29年10月7日～12月18日

江の島道に残る江の島弁財天道標を巡るスタンプラリーを展覧会会期中に実施します。チェックポイントは、①遊行寺宝物館②ふじさわ宿交流館③湘南 FUJISAWA コンシェルジュ④藤沢市観光センター⑤江島神社の5ヶ所です。

\*台紙は各所に置かれた展覧会チラシと共通です。全てのスタンプを集め、①②④へ行き、展覧会チケットと合わせて提示すると景品を贈呈いたします。コッキング苑及び江の島岩屋を各1割引にて入場できます。

## 青、黄、赤、白

先日行われた「文化講演会」では釈徹宗先生、直林不退先生をお迎え、浄土真宗に伝わる「節談説教」を軸にご講義をいただきました。

お説教の中で浄土三部経の一つである『阿弥陀経』についてのお話があり、聴講された方々は極楽浄土の世界に様々な想いをはせられたことかと思ひます。

さて『阿弥陀経』の中に私の好きな一節があります。

「池中の蓮華、大きき車輪の如し。青色には青光、黄色には黄光、赤色には赤光、白色には白光ありて、微妙香潔なり。」

“極楽浄土の池に咲く蓮の花は、青色であつたり、黄色であつたり、赤色であつたり、白色であつたりするけれども、それぞれがそれぞれの色で美しく光り輝いている”という意味です。

「隣の芝生は青く見える」と言いますが、人はどうしても他人と自分を比べたり、自分を他人に合わせたりしてしまいがちです。そうではなくて極楽浄土の蓮のように自分の色を自信をもって光らせなさいというのが仏教の教えです。他の色をうらやむ必要も、他の色になろうとする必要もないのです。

日本人は総じて集団主義であると言われてきました。その是非はさておき、主体性がなく周囲に合わせるということは、多様性というものが無くなるということです。多様性のない社会は閉鎖的、排他的な社会となるでしょう。

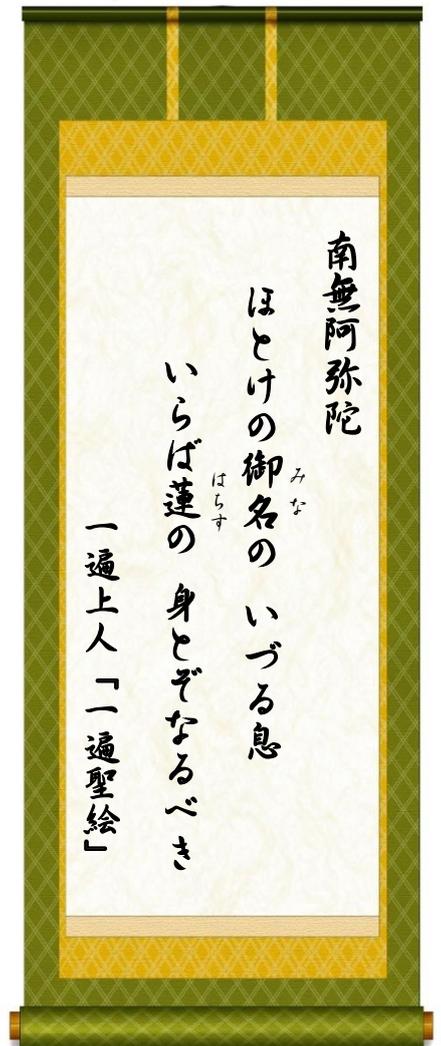
確かに集団生活では統率のために一定のルールは必要かもしれませんが、そういった場での協調性と主体性というものは必ずしも相反するものではないと思ひます。一人一人の価値観や性格は違って当たり前で、各々が個性を光らせながら共存することが理想であり、それをあらわしているのが極楽浄土なのではないでしょうか。

「今月のおことば」は宗祖一遍上人の臨終間際の和歌で、まさに蓮の花のように力強く生きられた一遍上人が、今度は蓮の実(仏様)となることを詠まれています。 合掌

(山務書記:高垣浩然)

宗祖の

## 今月のおことば



### ～一遍上人のおこころ～

「南無阿弥陀仏」の名号を称える息が止まるまさにその時、私たちは極楽浄土の蓮の花の中に生まれる身となる。

まるで蓮の花が実となるように、最期の一息が止むときに人間も浄土の身(仏)になるのだ。

facebook

フェイスブックでも遊行寺の様子や情報を配信しています。最新記事をお読みいただけますので、ぜひ“いいね!”してください♪

時宗総本山  
遊行寺

〒251-0001 神奈川県藤沢市西富1-8-1  
TEL:0466(22)2063 FAX:0466(23)8243  
ホームページ: <http://www.jishu.or.jp>

